

2021年10月1日

緊急事態宣言解除に係るスカウト活動の再開について

東京連盟県連盟コミッショナー 村山 大介

9月末をもって新型コロナウイルスに係る政府による緊急事態宣言が解除されることになりました。昨年からの新型コロナウイルス感染防止及び感染拡大予防のため、東京連盟ではスカウト活動の中止や延期を行ってきました。この間、多くのスカウト、指導者、スカウト関係者の皆様のご理解とご協力により、健康と安全を守ることができました。皆様に深く感謝申し上げます。

このたびの緊急事態宣言の解除に係るスカウト活動の再開にあたり、引き続きスカウトをはじめとする関係者の健康と安全を確保するため、以下の取り組みについてご理解、ご協力をお願いいたします。

1 隊活動について

緊急事態宣言が解除されたことにより、すべての活動が新型コロナウイルス禍以前の活動に戻るわけではありません。新型コロナウイルス感染防止、感染拡大予防の対策、新しい生活様式に基づくスカウト活動を徹底、実施していくことが求められます。隊活動の再開にあたっては、国や東京都の感染防止、感染拡大予防の方針に従うことが前提です。団委員長を中心に各隊指導者が、次の点について取り組むことでスカウトの健康と安全を確実に確保できるようご協力をお願いいたします。

① 新型コロナウイルスの感染防止、感染拡大予防の取り組みを再確認し、感染防止及び感染拡大予防の確実な実施ができるよう準備する。

- 集会、活動中のマスクの着用、人と人との適切な距離、手指の洗浄と消毒、共同で使用する物品の消毒を徹底する。
- 屋内で活動する場合は、換気を十分に行う。
- 食事をするときは、距離を十分に取り、黙食を徹底する。
- 日常の健康観察(体温、体調等)を記録し、集会、活動前に確認する。また、集会、活動終了後3日以内に新型コロナウイルス感染が疑われる症状が現れた場合は、指導者に連絡するよう保護者に事前に通知する。
- 当面、舎営については地域の小中学校の宿泊行事(移動教室、修学旅行等)の実施状況を把握し、実施の可否を判断する。キャンプを行う際は原則ソロテント(一人用テント)を使用して宿泊する。ソロテントの安全な設営、使用方法を事前訓練でスカウトに指導する。
- 集会、活動前2週間以内に37.5℃以上の発熱、集会当日朝の体温が37.5℃以上の発熱があった場合は欠席する。集会、活動中に発熱した場合は集会を中止して、全員帰宅させる。
- 集会、活動中における感染防止、感染拡大予防対策について、保護者に説明し理解を得る。
- 都県を越える活動を計画する場合、東京都や移動先自治体の移動自粛要請発出の有無を確認する。移動自粛要請が発出されている場合は活動の見直しを行う。県外旅行申請については、状況に応じ申請を受理できないことがある。また、承認を取り消すことがあります。

② スカウト活動を介して感染者(濃厚接触者)が出た場合の対応を決めておく。

- 隊、団指導者は活動の内容、衛生管理の内容を把握する。
- 保健所の積極的疫学調査に協力できるよう、活動中の様子を詳細に記録（マスク着用の状況、人と人との距離、位置、時系列の記録、画像での記録など）する。
- スカウト活動を介して陽性判明者や濃厚接触者の指定を受けた者がいる場合、隊、団指導者が対応（保護者への告知、感染状況の説明等）できるよう準備する。また、関係者に陽性判明者がいる場合、人権への配慮（差別やいじめの防止等）から個人が特定されないよう配慮する。あわせて、新型コロナウイルスワクチンの接種についても、接種は個人の判断のため、接種の有無は問わない。

緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルス禍での感染防止、感染拡大予防を施した上での活動の展開が必要です。活動の再開にあたっては、団委員長を中心とした団の組織的対応力が必須です。活動再開の前に団内の指導者が、スカウトの健康と安全を担保できる活動の展開ができるかどうかを確認、判断いただきますようお願いいたします。

2 東京連盟の行事について

東京連盟が実施する行事について、すでに中止もしくは延期を決定したものは、その決定に変更はありません。

3 指導者訓練について

緊急事態宣言解除後、東京連盟の指導者訓練については感染防止、感染拡大予防、新しい生活様式に基づくスカウト活動を徹底することを前提に再開します。

日本連盟が実施する指導者訓練の参加については、日本連盟の通知に基づき参加を承認します。

他県連盟が実施する指導者訓練への参加についても、日本連盟と同様に取り扱います。

ただし、指導者訓練の参加にあたり都県を越える移動の自粛要請や新型コロナウイルスの感染状況により、国及び自治体から何らかの自粛要請が発出された場合は参加の見合わせをお願いすることがあります。

最後に

新型コロナウイルスの変異種(デルタ株)による、幼児、児童、青少年等の若年層への感染拡大、今後第6波の到来も危惧されます。繰り返しになりますが、マスクの着用、手指の洗浄・消毒、密を避ける行動という、これまでの取り組みを気を緩めずに実行することが感染防止、感染拡大予防につながります。

スカウト及びスカウトの家族、スカウト関係者の「命」を守る行動、判断をお願いします。

以上